



KYUSHU UNIVERSITY

FACT BOOK 2022

KPIダイジェスト版



【表紙について】

場所：伊都キャンパス ウェスト3号館・4号館、石のアート

<ウェスト3号館・4号館>

広範囲にある様々な施設間のつながりや周辺の山並みとの調和に配慮されるとともに、各研究棟は講義や特殊実験、研究などのアクティビティに応じた効率的な配置となっている。

南側はキャンパス・コモンを一望出来る特別な場所であり、フルハイトのガラス面によって可能な限りの開放感を与えている。北側は設備のフレキシビリティを実現する為にテクニカルシャフトと呼ばれる設備塔を建物外側に配置している。研究教育棟を表現する重要な要素となる東西妻面デザインは、オフィス・ゾーン、セミオフィス・ゾーン、ラボ・ゾーンの3層状配置の重なりを表現している。

<石のアート QIAO (チャオ)>

人々の豊かな生命力とエネルギーを伝える五木石。中央の通路は国際的な知の拠点である伊都キャンパスを象徴。

(作家：田甫律子 東京芸術大学 教授)

※作家の肩書は制作当時

「KYUSHU UNIVERSITY FACT BOOK 2022 -KPIダイジェスト版-」の作成について

「KYUSHU UNIVERSITY FACT BOOK 2022 -詳細版-（令和3年度までの『KYUSHU UNIVERSITY FACT BOOK』から名称変更、以降『FACT BOOK 2022 詳細版』という）」は、学内に散在するデータを「客観的かつ精査されたデータ」として集積し、大学や各部局の現状を把握し、改革・改善や将来計画策定に利用していただくことを目的に作成・公開しており、データを「経年」で表現することで、本学の「これまで」を読み取り、その上で「この先」をある程度推測することが可能となっています。

今回作成した「KYUSHU UNIVERSITY FACT BOOK 2022 -KPIダイジェスト版-（以降『FACT BOOK 2022 KPIダイジェスト版』という）」は、「FACT BOOK 2022 詳細版」の中から、本学の指定国立大学法人構想および第4期中期目標・中期計画において掲げている成果指標(KPI)を抜粋して作成しています。これは、本学の重要施策における成果指標の「推移」と「現状」を「すぐに」確認できることを目的にしたものです。

「FACT BOOK 2022 KPI ダイジェスト版」「FACT BOOK 2022 詳細版」ともIR室 Web サイト (<https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載していますので、是非ご活用ください。



令和4年11月 IR室長

谷口 倫一郎

目次

| | |
|---|----|
| 目次 | 1 |
| 九州大学指定国立大学法人構想 | 2 |
| [A] 基本情報 | |
| [A] 基本情報 | 3 |
| [B] KPI一覧 | |
| [B] KPI一覧 | 4 |
| [C] 教育 | |
| [C] -1. 留学生受入人数 | 5 |
| [C] -2. 海外留学者数 | 5 |
| [C] -3. 外国人等教員数 | 6 |
| [D] 研究 | |
| [D] -1. 国際共著論文数【直近5年の合計】 | 6 |
| [D] -2. TOP10%ジャーナル論文数【直近5年の合計】 | 7 |
| [D] -3. 若手研究者比率 | 7 |
| [D] -4. 女性研究者比率 | 8 |
| [D] -5. 外国人研究者比率 | 8 |
| [E] 社会との連携 | |
| [E] -1. 共同研究費受入額 | 9 |
| [E] -2. 研究成果発ベンチャー起業数 | 9 |
| [E] -3. 【参考】民間との共同研究 受入金額 金額規模別内訳 (R2年度) | 10 |
| [E] -4. 【参考】民間との共同研究 件数・受入経年推移 (H22 ~ R2年度) | 10 |
| [F] ガバナンスの強化 | |
| [F] -1. 執行部の女性・外国人合計比率 | 11 |
| [F] -2. 【参考】役員等 | 11 |
| [G] 財務基盤強化 | |
| [G] -1. 病院収益を除く経常収益に占める外部資金等収益比率 | 12 |
| [G] -2. 寄附(九大基金)の受入額 | 12 |
| [H] QS分野別 世界大学ランキング | |
| [H] QS分野別 世界大学ランキングにランクインしている分野数 | 13 |

指定国立大学法人構想

持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ(=well-being)を
実現できる社会に貢献

総合知で社会変革を 牽引する大学へ

世界と伍する 研究力への強化

- 研究戦略会議による研究戦略策定と新たな強み発掘
- 学術の発展及び社会的課題解決に向けた「総合知」創出・活用
- 秀逸な若手・女性・外国人研究者の獲得・育成

「目標1」 世界最高水準の研究教育を展開する知のプラットフォームとなる

「目標2」 新たな社会・経済システムを創出するイノベーション・エコシステムの中核となる

社会との連携

- 産学官民連携による社会的課題解決と成果の事業化促進
- 大学発ベンチャー起業促進
- 地域コミュニティとの協働によるシチズンサイエンス

総合知の創出・活用

最優先取組

社会的課題の解決によって社会を変革する取組

エントリポイント

大学の強み・特色を生かして社会的課題の解決に貢献

脱炭素
医療・健康
環境・食料

未来社会デザイン統括本部 

ミッション

- 自然科学系と人文社会科学系の知の融合による総合知の創出・活用
- 社会の変革状況等を踏まえたビジョン達成のための戦略策定
- 取組の進捗管理と戦略的資源配分
- 九大版地域連携プラットフォームの橋渡し(調査・提言)

最優先取組

DXの推進によって社会を変革する取組

データ駆動イノベーション推進本部 

ミッション

- DXによる「あるべき社会の姿」の研究やその実現のための戦略発信
- データ駆動型教育・研究・医療の展開
- データマネジメント&データガバナンスの構築
- DXにより社会を変革するイノベーション創出への貢献

教育による 価値創造人材の育成

- 課題解決型授業科目やSTEAM教育の全学展開
- 分野融合型学位プログラム等による多様な博士育成
- COIL型教育、DD、JDによる教育の国際化

戦略的資源配分による 各取組の活性化

ガバナンスの強化
経営視点のガバナンスとダイバーシティ環境構築

財政基盤の強化
外部資金等獲得戦略に基づく多様な財源の確保

国際協働

- 戦略的パートナーシップ
大学との国際協働強化
- 共同研究等拡大による国際頭脳循環
- グローバル化に対応する環境整備

[A] 基本情報

| 項目 | 大学名 | 九州大 (2022) |
|--|------|---------------|
| 学長 | | 1 |
| 副学長 | | 15 |
| 学長・副学長 計 | (※1) | 16 |
| 教授 | | 680 |
| 准教授 | | 683 |
| 講師 | | 158 |
| 助教 | | 880 |
| 助手 | | 8 |
| 教諭 | | |
| 教員数 | (※1) | 2,409 |
| 職員数 | (※1) | 3,668 |
| 学部生 | | 11,683 |
| 大学院生 [博士前期・修士] | | 3,984 |
| 大学院生 [専門職] | | 293 |
| 大学院生 [博士後期・博士] | | 2,600 |
| 学生数 | (※1) | 18,560 |
| 学部数 | (※2) | 12 |
| 大学院数 | (※2) | 19 |
| 附置研究所数 | (※2) | 4 |
| 共同利用・共同研究拠点数 | (※3) | 5 |
| 教育関係共同利用拠点数 | (※4) | 1 |
| 運営費交付金 (単位：百万円) | (※5) | 38,725 |
| QS 世界大学ランキング 2023 順位 (2022 年 6 月 公表) | | 135 |
| QS 分野別 世界大学ランキング 2022 [50 位以内ランクインの分野数] (2022 年 3 月 公表) | | 1 |
| QS 分野別 世界大学ランキング 2022 [100 位以内ランクインの分野数] (2022 年 3 月 公表) | | 2 |

(※1) R4.5.1 現在

(※2) R4.4.1 現在

(※3) R4.4 月現在

(※4) R4.8.31 現在

(※5) R4 年度予算。(九州大学概要 2022 資料編)

出典：教員数、職員数：学校基本調査

共同利用・共同研究拠点数：文部科学省ホームページ(共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の第3期中期目標期間における期末評価結果)

教育関係共同利用拠点数：文部科学省ホームページ(教育関係共同利用 認定拠点一覧)

QS 世界大学ランキング 2023、QS 分野別世界大学ランキング 2022：英国クアカアレリ・シモンズ (Quacquarelli Symonds:QS) Web サイト
上記以外の項目は九州大学概要を参照

⇒ 他大学との比較は、「FACT BOOK 2022 詳細版」の

「1-9. 他大学との比較-指定国立大学法人等間-」を参照ください。

[B] KPI 一覧

指定国立大学法人構想および第4期中期目標・中期計画においては以下の成果指標（KPI）が定められています。

| 区分 | KPI | 達成目標 | |
|---------|---|-------------------------------|-----------------------------|
| | | 第4期中期目標・中期計画 (2022～2027年度) | 指定国立大学法人構想 (2021～2030年度) |
| 教育 | 留学生受入人数 [中期計画番号:(16)-1] | 2,800人 | 3,200人 |
| | 海外留学者数(*1) [中期計画番号:(16)-1] | 2,500人 | - |
| | 外国人等教員数(*2) [中期計画番号:(21)-3] | 1,300人 | 1,500人 |
| 研究 | 国際共著論文数【直近5年の合計】(*3) [中期計画番号:(5)-4] | 9,000報 | 10,000報 |
| | TOP10%ジャーナル論文数【直近5年】(*4) [中期計画番号:(5)-5] | 8,000報 | 9,000報 |
| | 若手研究者比率 [中期計画番号:(21)-1] | 30% | 30% |
| | 女性研究者比率 [中期計画番号:(21)-2] | 25% | 25% |
| | 外国人研究者比率 [中期計画番号:(21)-3] | 10% | 10% |
| 社会との連携 | 共同研究費受入額 [中期計画番号:(9)-2] | 2021年度実績(*5)より 15億円増 | 50億円 |
| | 研究成果発ベンチャー起業数 [中期計画番号:(10)-4] | 第4期中期目標・中期計画期間に 20社起業 | 指定国立大学法人構想期間中に 50社起業 |
| ガバナンス強化 | 執行部の女性・外国人合計比率 | - | 40% |
| 財務基盤強化 | 病院収益を除く経常収益に占める 外部資金等収益比率 [中期計画番号:(30)-4] | 32% | 35% |
| | 寄附(九大基金)受入額 [中期計画番号:(29)-2] | 第4期中期目標・中期計画期間に 20億円増 | (累計60億円) |



<指定国立大学法人構想における最終的なKPI>

| | |
|--------------------------------|-------------|
| QS分野別世界大学ランキングにランクインしている分野数の比較 | 100位以内に10分野 |
|--------------------------------|-------------|

(*1) オンライン留学を含む。

(*2) 外国籍の教員、外国の大学で学位を取得した日本人教員、外国で通算1年以上の研究教育歴を有する日本人教員。

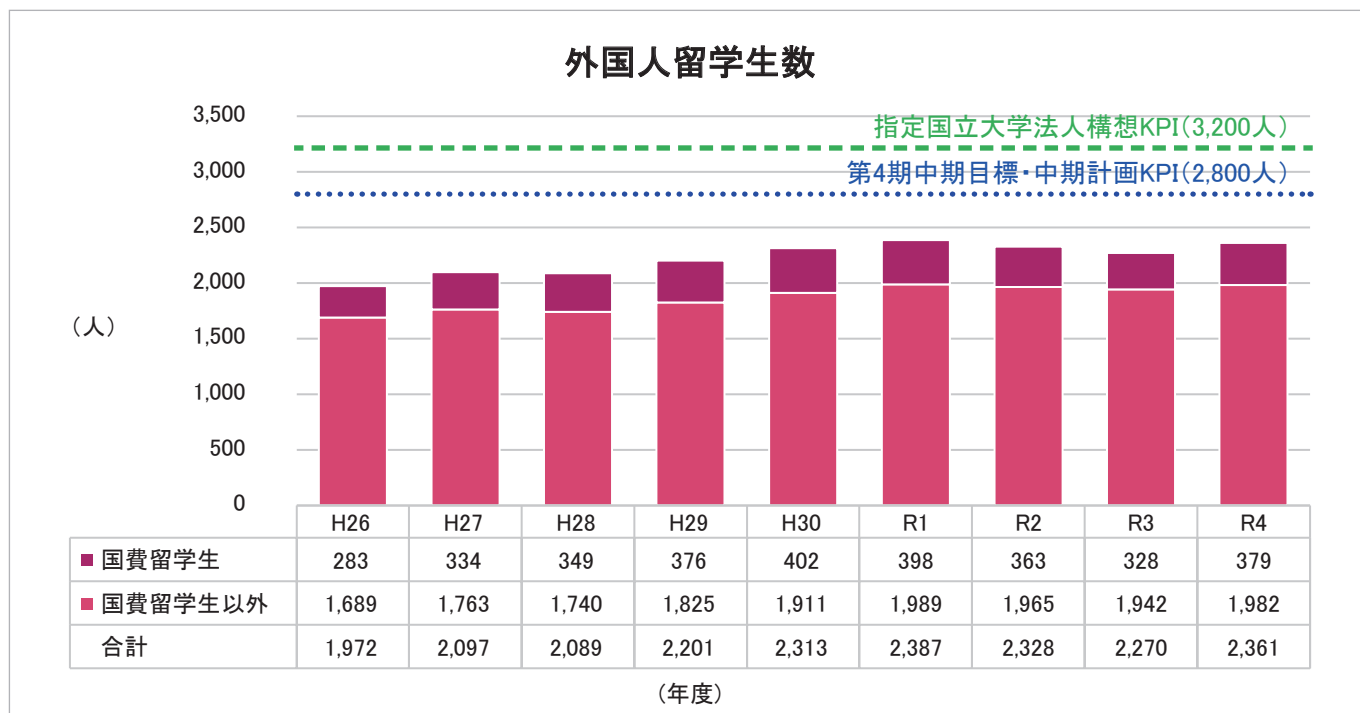
(*3) データはエルゼビア社製「SciVal」より抽出。
論文指標の抽出条件：文献タイプ=Articles and reviews、分野補正=無し

(*4) データはエルゼビア社製「SciVal」より抽出。
論文指標の抽出条件：文献タイプ=Articles and reviews、ジャーナル評価指標=CiteScore Percentile

(*5) 2021年度の共同研究費受入額は約26億円。

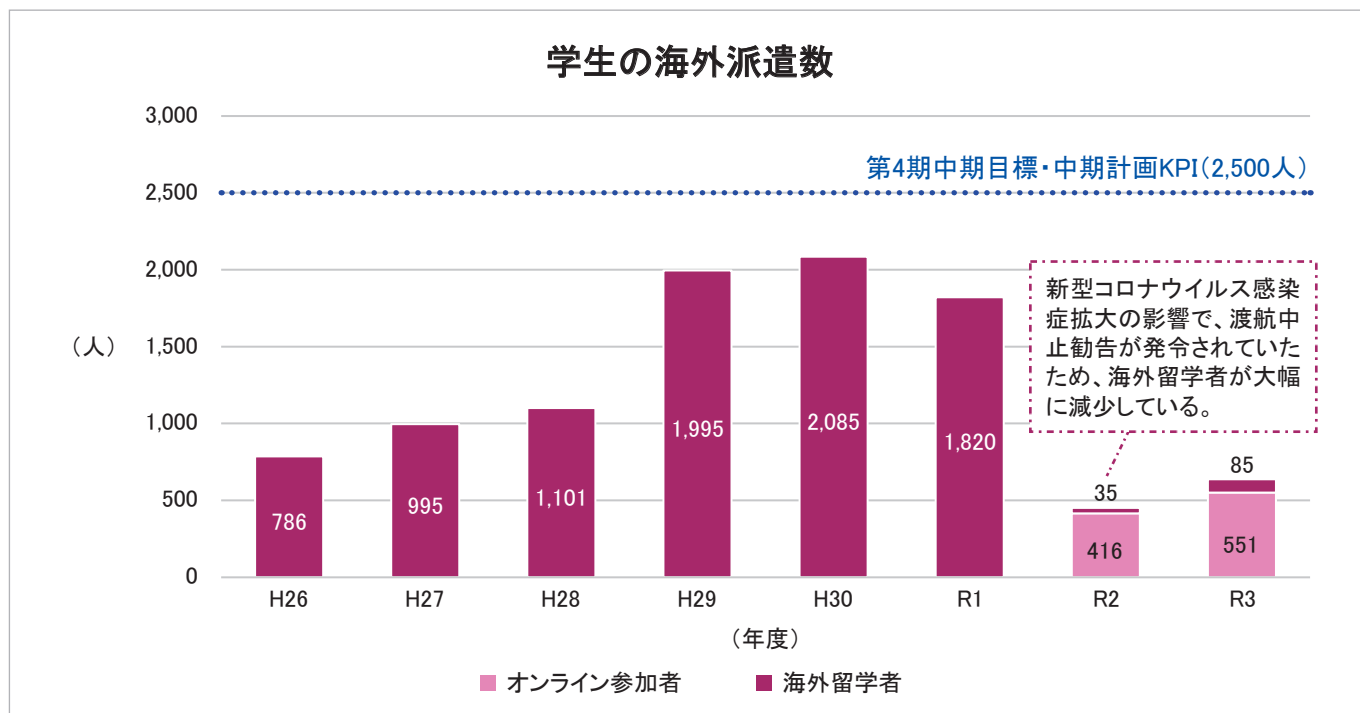
[C] 教育

KPI: 留学生受入人数



- ・国費留学生：日本政府から奨学金を支給されている留学生。
- ・国費留学生以外：外国政府派遣留学生（※1）、私費留学生（※2）。
- （※1）外国政府派遣留学生：諸外国政府の経費負担により派遣されている留学生（中国政府「国家建設高水平大学公派研究生項目」含む）。
- （※2）私費留学生：国費留学生、外国政府派遣留学生以外、自費による留学生（JICA 関連事業等留学生含む）。

KPI: 海外留学者数



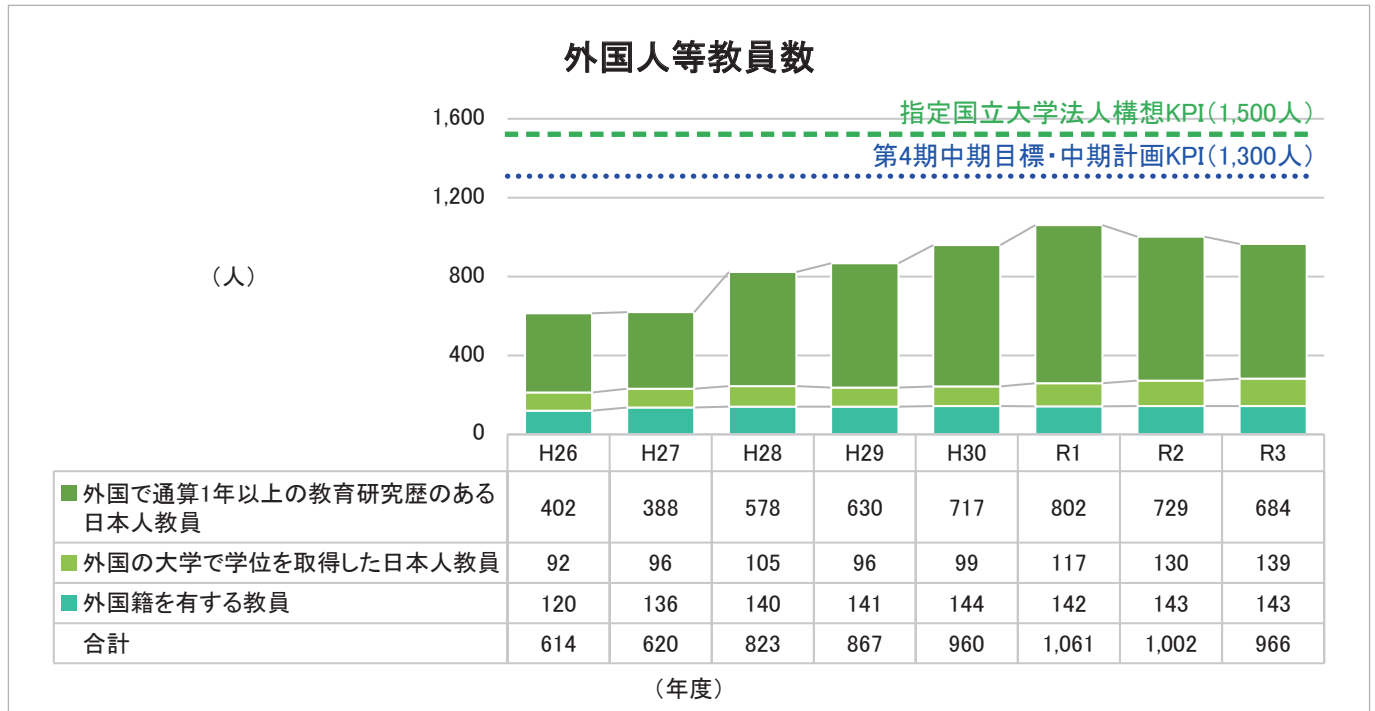
- ・過年度に留学を開始した者を含む（H26-30）
- ・外国人留学生を含む総数（R1-3）
- ・R2年度より海外大学プログラム等へのオンライン参加者を含む。

出典：九州大学概要

⇒ その他の「国際」に関するデータは、「FACT BOOK 2022 詳細版」の「10. 国際」を参照ください。

[C] 教育

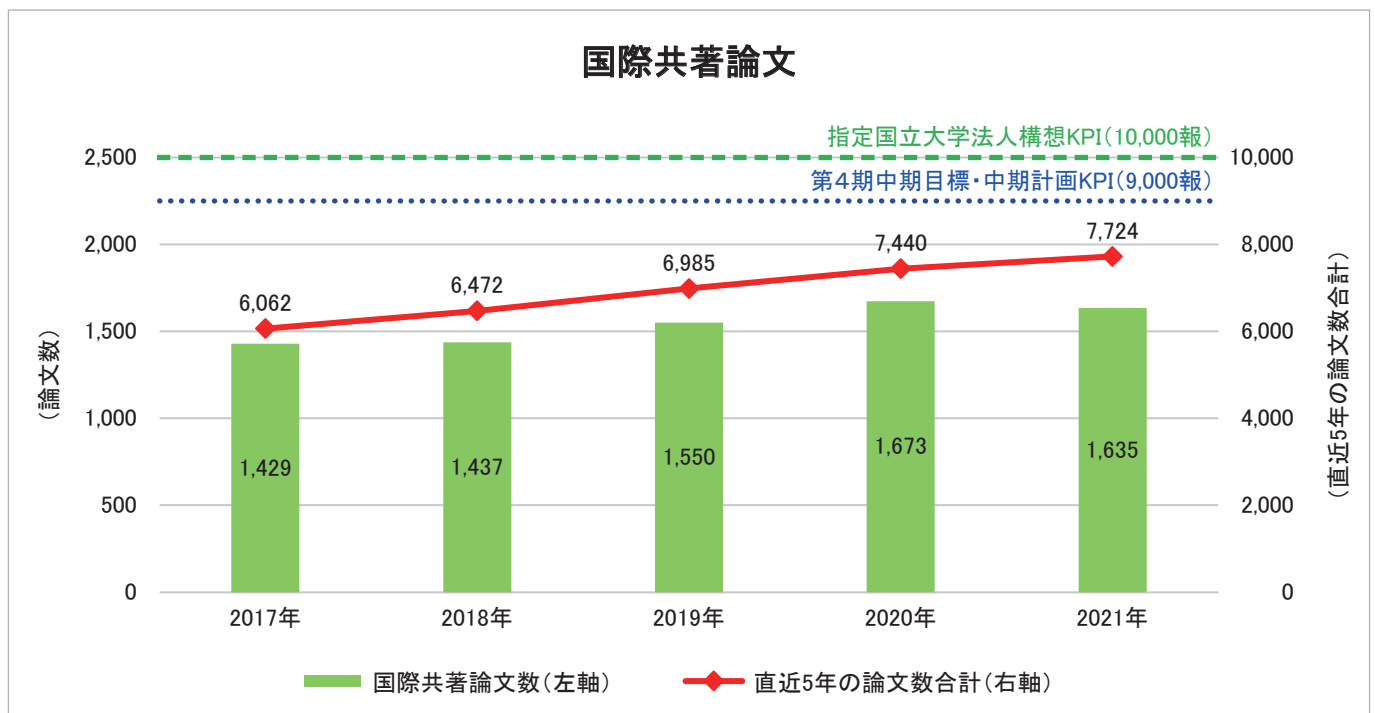
KPI: 外国人等教員数



出典: 独立行政法人 日本学術振興会 「スーパーグローバル大学創成支援事業 フォローアップ結果」
文部科学省 学校基本調査 「学生教職員等状況票」

[D] 研究

KPI: 国際共著論文数【直近5年の合計】

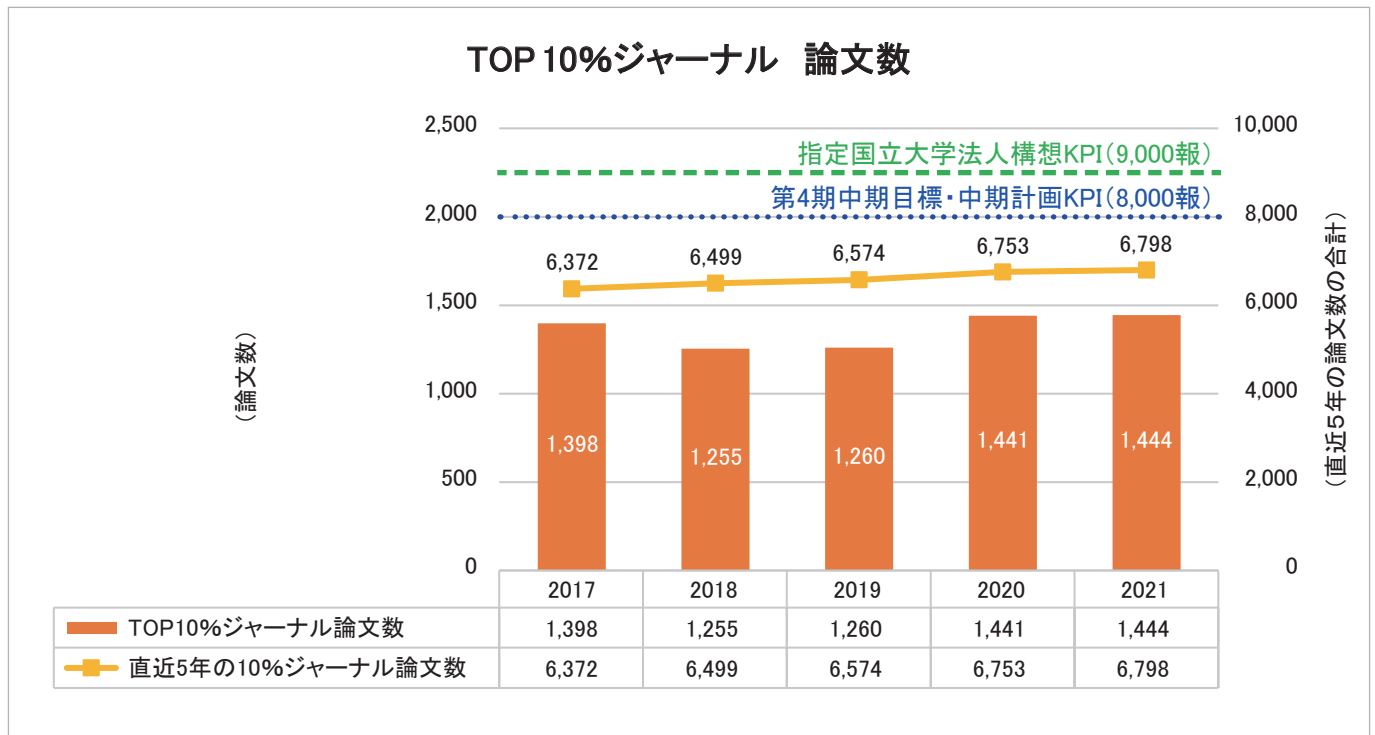


・折れ線は、当該年を含む直近5年の国際共著論文数。

出典: Elsevier 社製「SciVal」(2022年9月現在)

[D] 研究

KPI: TOP 10%ジャーナル論文数【直近5年の合計】

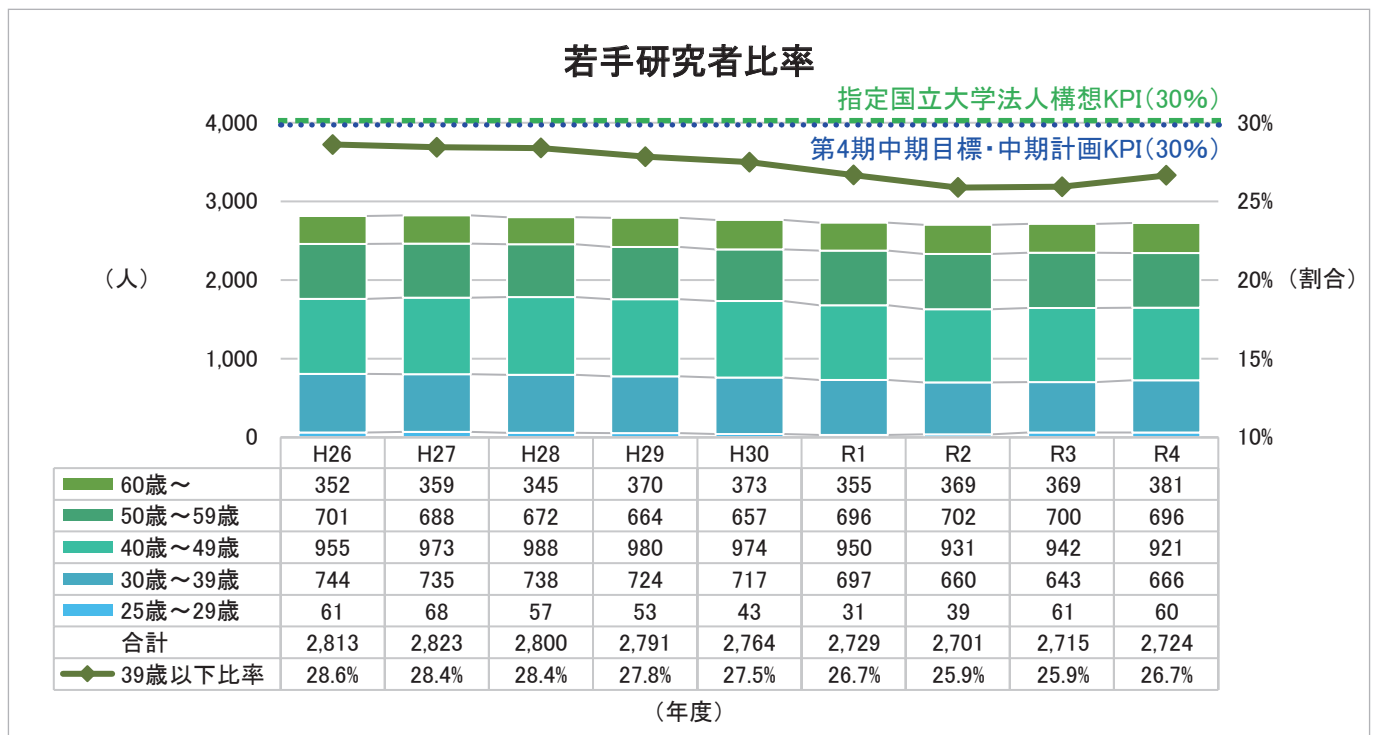


・折れ線は、当該年を含む直近5年のTOP10%ジャーナル論文数。

出典: Elsevier社製「SciVal」(2022年9月現在)

⇒ その他の「研究」に関するデータは、「FACT BOOK 2022 詳細版」の「9. 研究」を参照ください。

KPI: 若手研究者比率



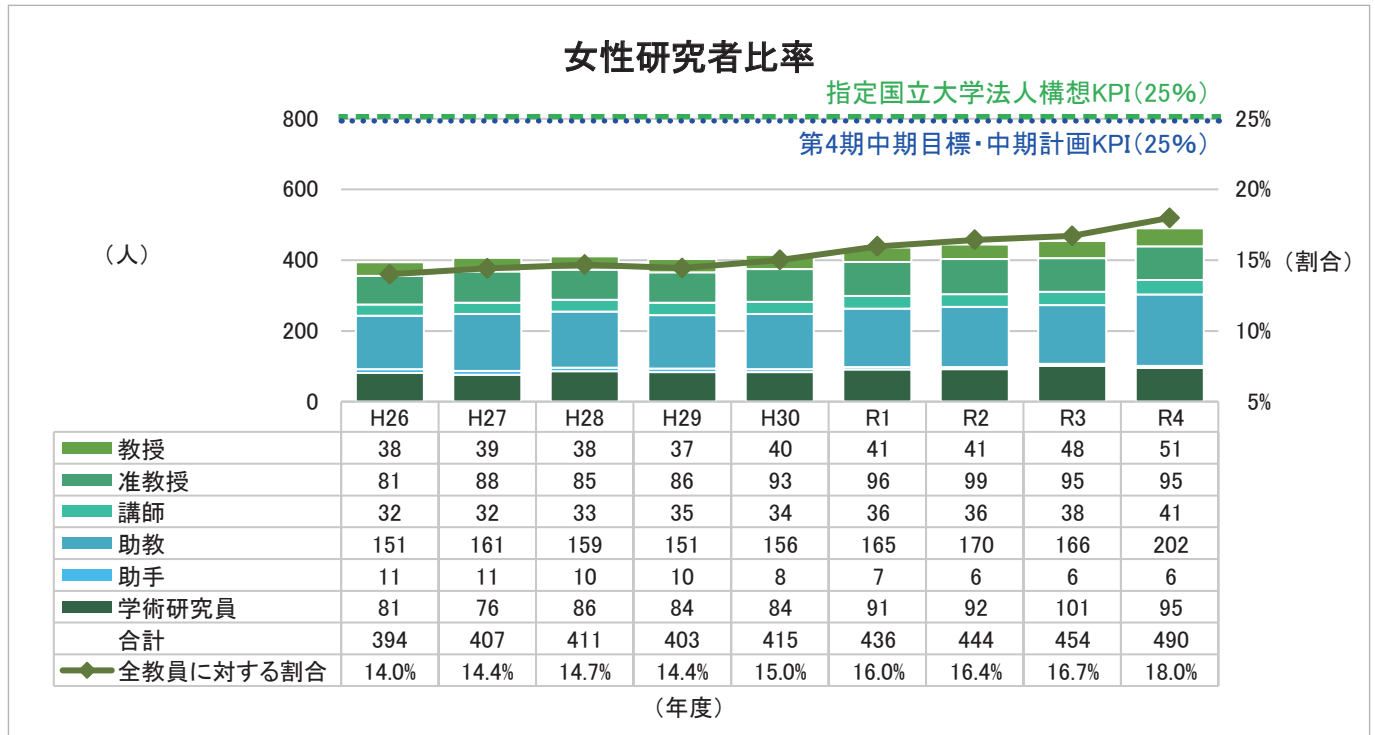
・教員と学術研究員(有期契約)を含む。

・年度末(3.31時点)の年齢で計上。

出典: 人事部保有データ(各年度5月1日現在)

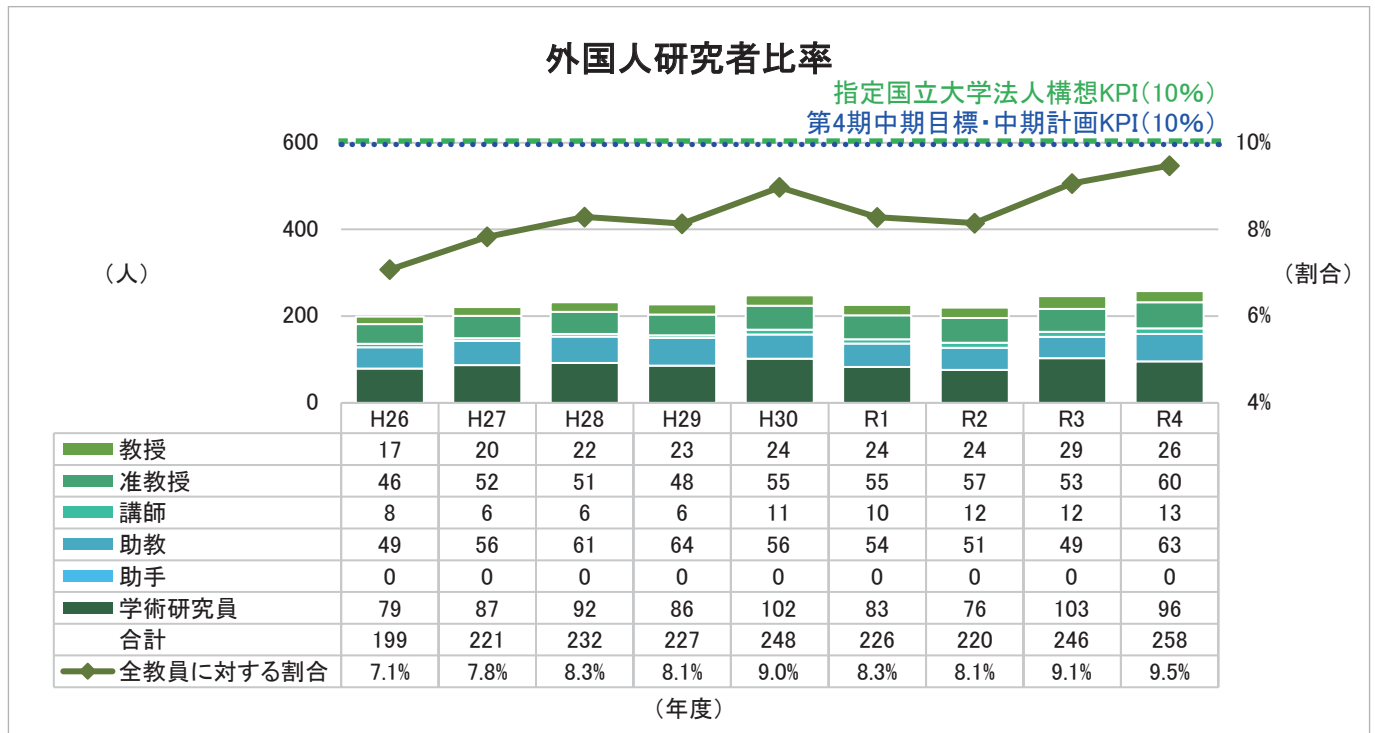
[D] 研究

KPI: 女性研究者比率



・学術研究員は、有期契約のみ(パートタイムを除く)計上。

KPI: 外国人研究者比率



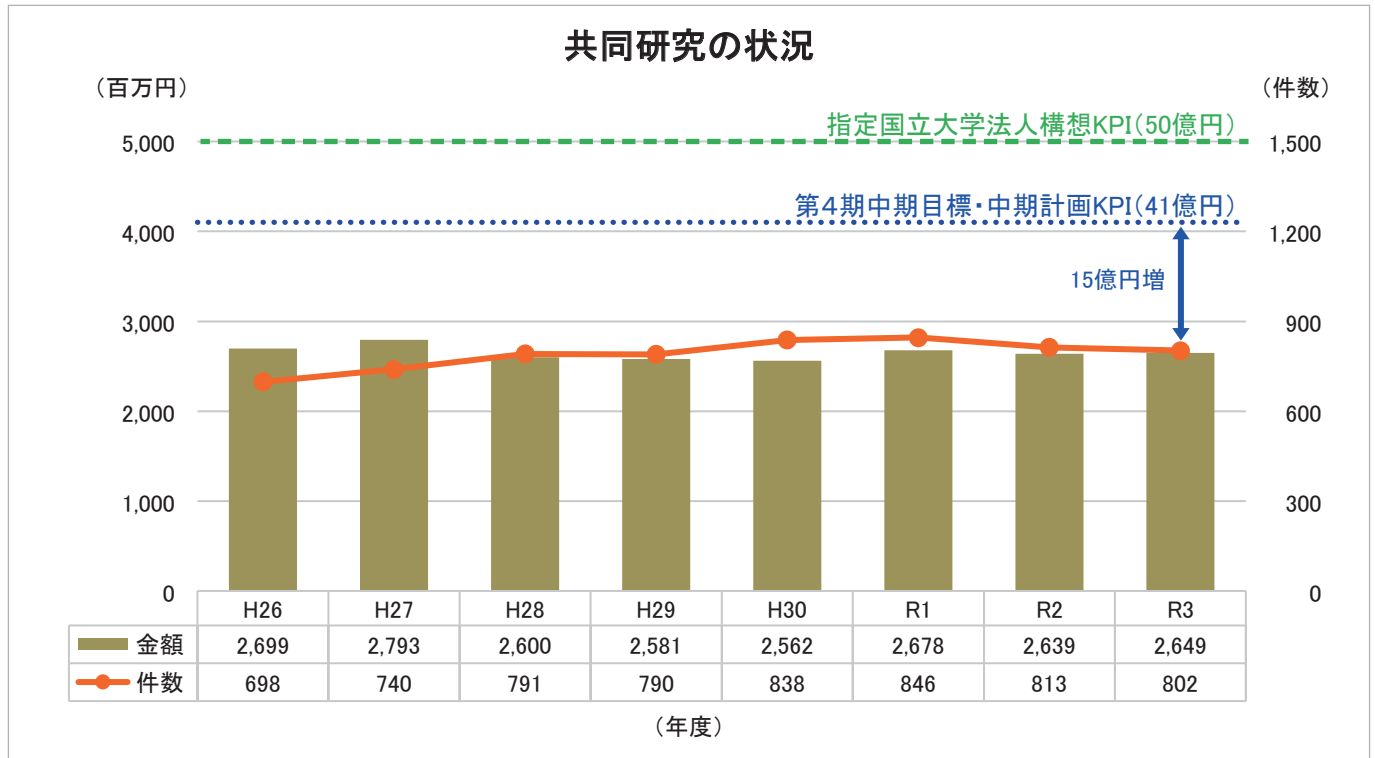
・学術研究員は、有期契約のみ(パートタイムを除く)計上。

出典: 人事部保有データ(各年度5月1日現在)

⇒ その他の「教職員数等」に関するデータは、「FACT BOOK 2022 詳細版」の「2. 教職員数等」を参照ください。

[E] 社会との連携

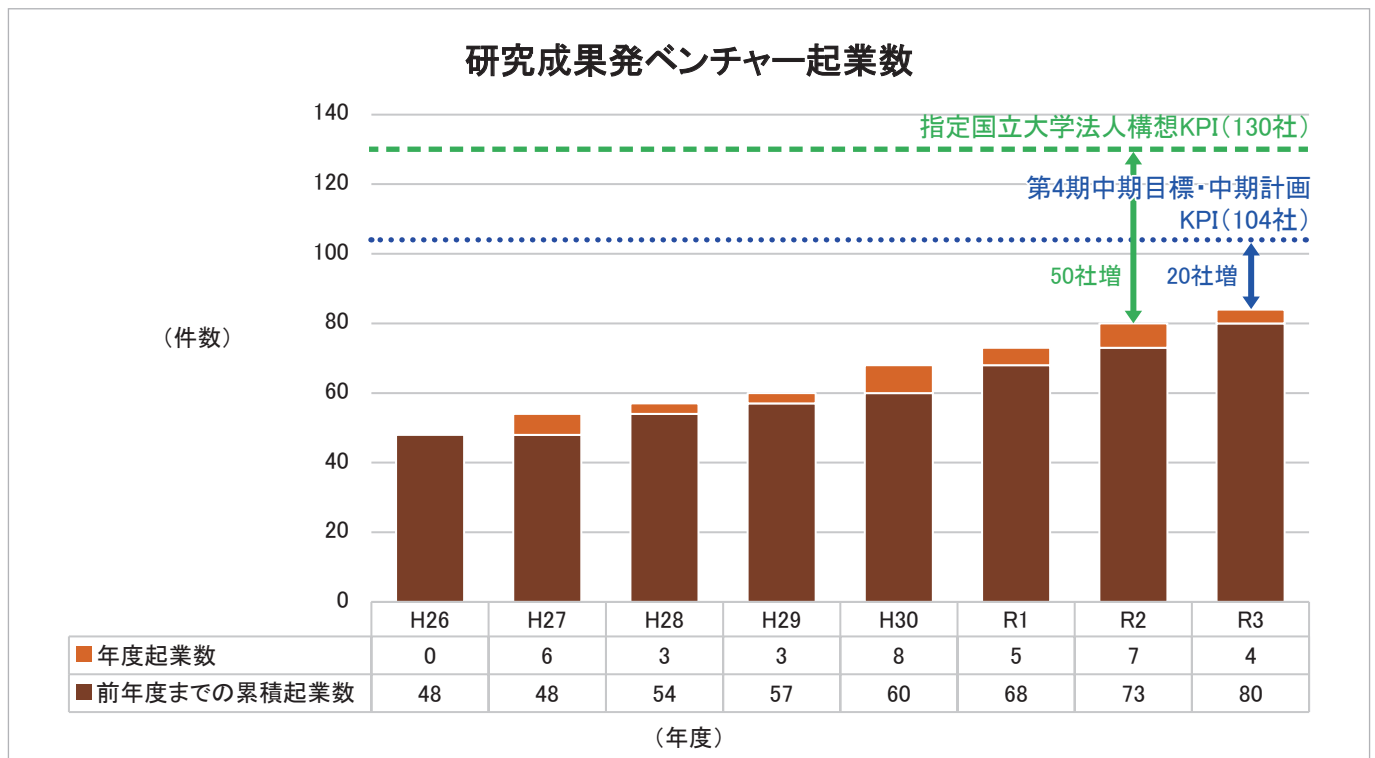
KPI: 共同研究費受入額



・百万円未満は切り捨て。

出典: 九州大学概要

KPI: 研究成果発ベンチャー起業数



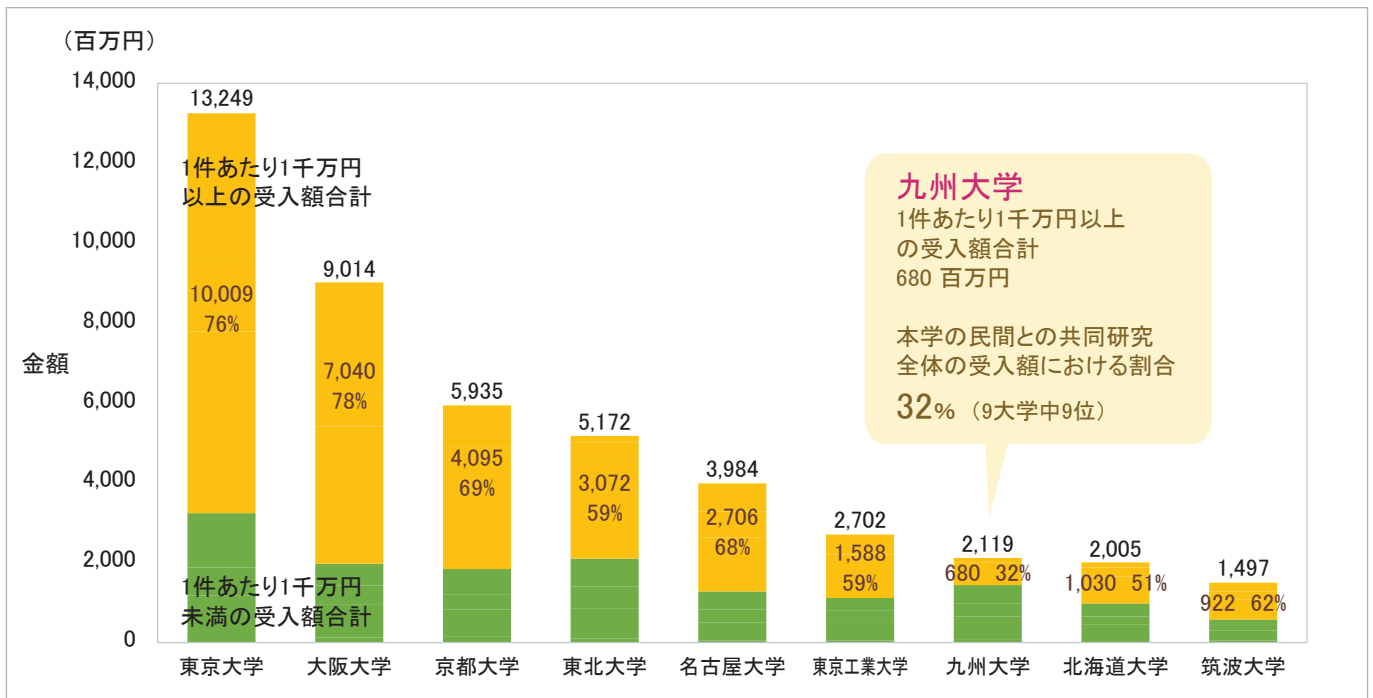
出典: 九州大学オープンイノベーションプラットフォーム 保有データ(各年度3月31日現在)

⇒ その他の「社会連携」に関するデータは、「FACT BOOK 2022 詳細版」の「11. 産学官連携」を参照ください。

[E] 社会との連携

【参考】民間との共同研究 受入金額 金額規模別内訳（R2年度）

本学は、1件あたり1千万円以上の受入金額合計、及び、全体に対する割合が9大学中9位で、他大学に比べて少ない。

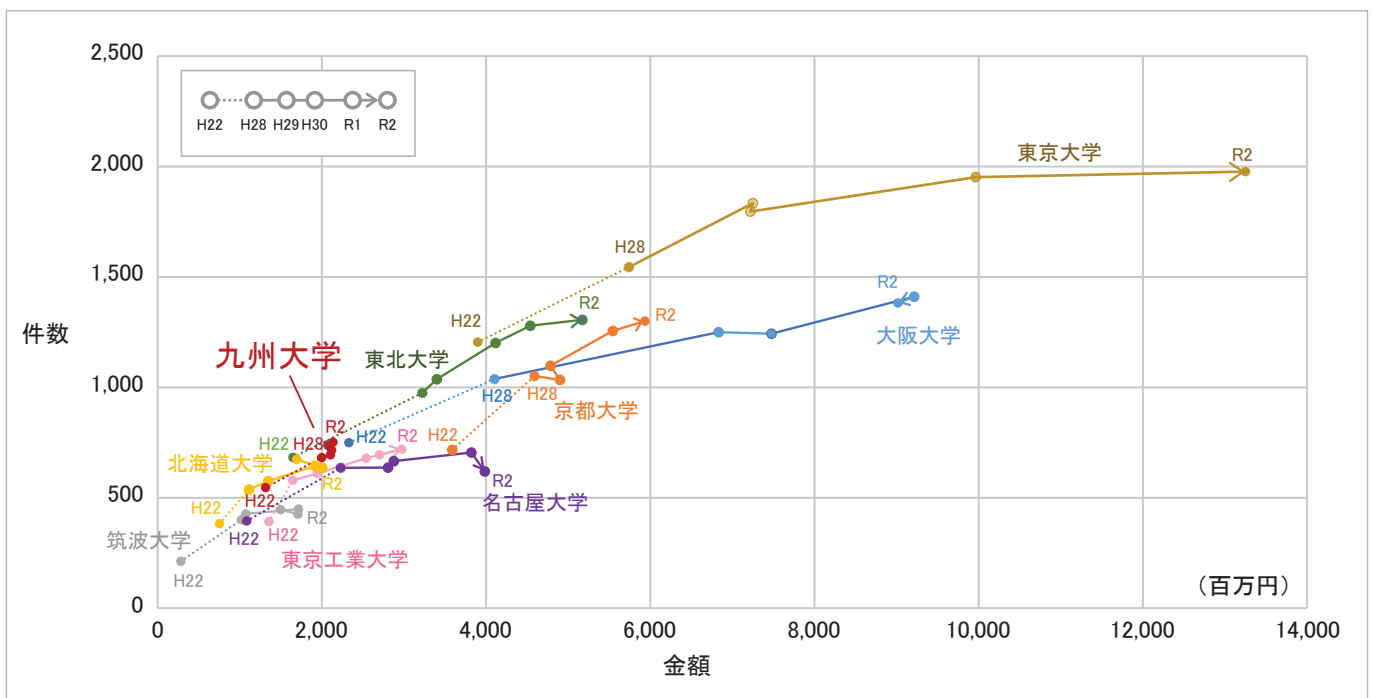


・指定国立大学法人(一橋大学、東京医科歯科大学を除く)及び北海道大学の9大学間で比較を行った。

出典: 文部科学省 大学等における産学連携等実施状況について(令和2年度)

【参考】民間との共同研究 件数・受入経年推移（H22～R2年度）

- ・本学は、H22⇒R2年度の件数・受入金額の増加数が9大学中9位で、最も小さい。
- ・他大学の受入金額は大きく伸びているが、本学は近年は微増である。

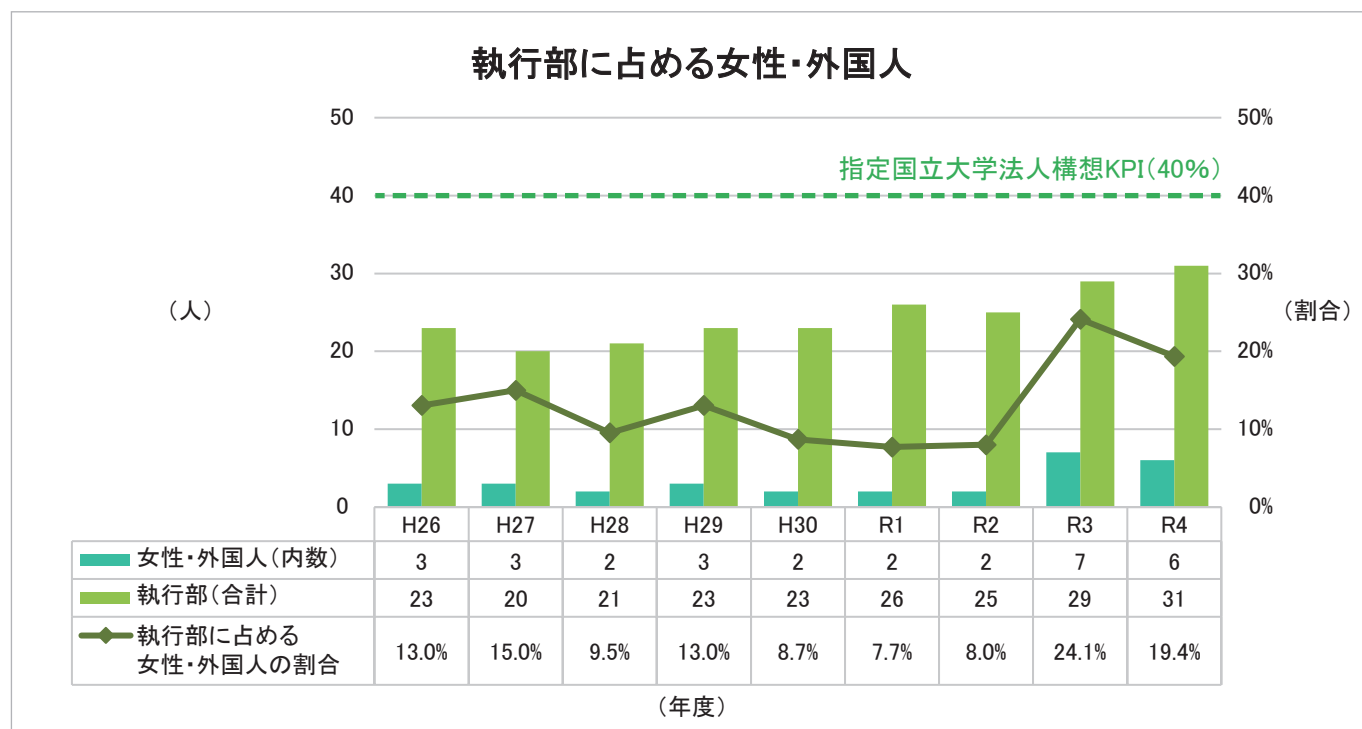


・指定国立大学法人(一橋大学、東京医科歯科大学を除く)及び北海道大学の9大学間で比較を行った。

出典: 文部科学省 大学等における産学連携等実施状況について(平成22年度～令和2年度)

[F] ガバナンスの強化

KPI: 執行部の女性・外国人合計比率



【参考】 役員等

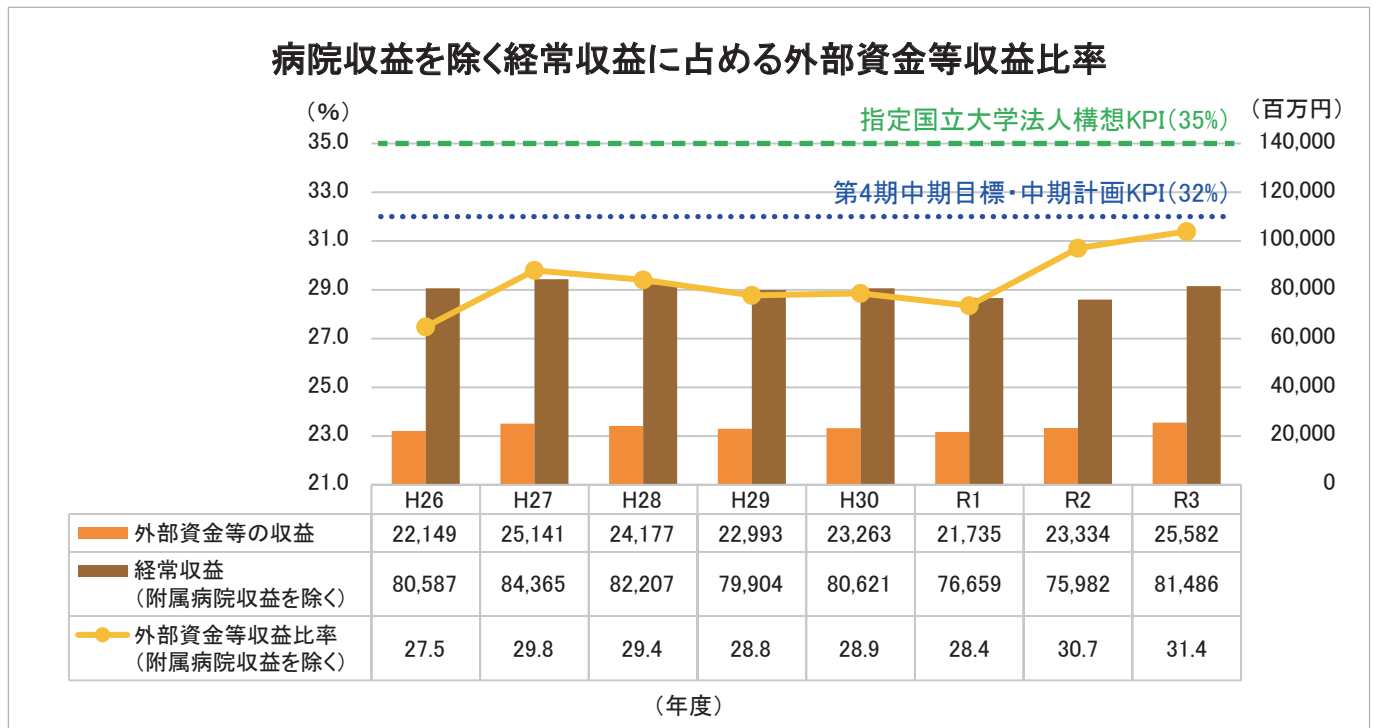
令和4年10月1日現在

| 役職 | | 氏名 | 女性 | 外国人 |
|-----|------------------|--------|----|-----|
| 役員 | 総長 | 石橋達朗 | | |
| | 理事・副学長プロボスト | 荒殿誠 | | |
| | 理事・副学長 | 谷口倫一郎 | | |
| | 理事・副学長 | 久枝良雄 | | |
| | 理事・副学長 | 福田晋 | | |
| | 理事・副学長 | 岩田健治 | | |
| | 理事・事務局長 | 西田憲史 | | |
| | 理事 | 村上洋子 | ○ | |
| | 理事 | 前田裕子 | ○ | |
| 副学長 | | 赤司浩一 | | |
| | | 白谷正治 | | |
| | | 玉田薫 | ○ | |
| | | 原田明 | | |
| | | 園田佳巨 | | |
| | | 尾本章 | | |
| | | 佐々木一成 | | |
| | | 岡村耕二 | | |
| | | 日下部宜宏 | | |
| | | 鎬木政彦 | | |
| | 内田誠一 | | | |
| | LAUWEREYNS JOHAN | | ○ | |
| 副理事 | | 清水周次 | | |
| | | 原田恒司 | | |
| | | 田上健一 | | |
| | | 野瀬健 | | |
| | | 高田仁 | | |
| | | 菘島理 | ○ | |
| | | 許斐ナタリー | ○ | ○ |
| | | 大西晋嗣 | | |
| | | 小島立 | | |
| | 竹吉正志朗 | | | |
| 計 | | 31 | 5 | 2 |

出典: 九州大学概要(H26-R3年度)
人事部保有データ10月1日現在(R4年度)

[G] 財務基盤強化

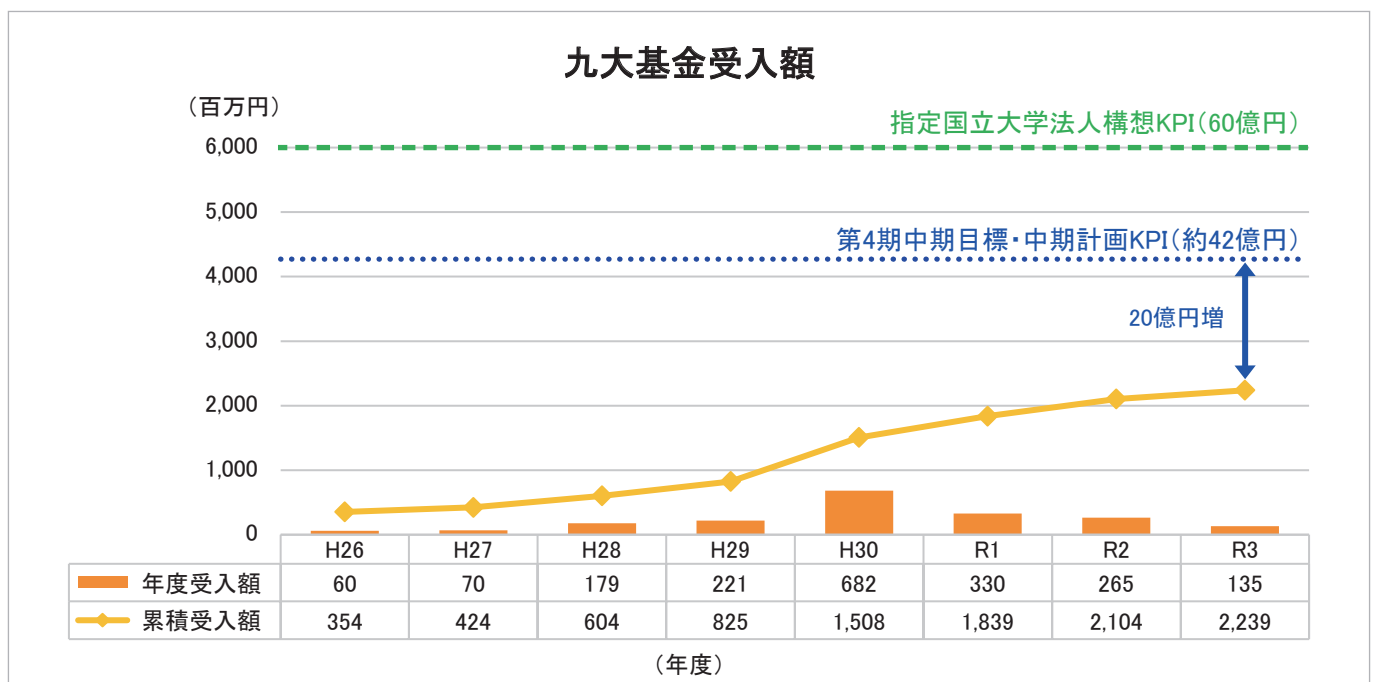
KPI: 病院収益を除く経常収益に占める外部資金等収益比率



- ・ 外部資金の収益には「受託研究収益」、「共同研究収益」、「受託事業等収益」、「寄附金収益」、「補助金等収益」、「財務収益」、「雑益」が含まれる。
- ・ 百万円未満は切り捨て。

出典: 財務部保有データ(H26、R3年度)
九州大学財務レポート2021(H27-R2年度)

KPI: 寄附（九大基金）の受入額



- ・ 百万円未満は切り捨て。

出典: 総務部保有データ(H26、R3年度)
九州大学基金活動報告書(H27-R2年度)

⇒ その他の財務基盤に関するデータは、「FACT BOOK 2022 詳細版」の「13. 収入・支出」を参照ください。

[H] QS分野別 世界大学ランキング

QS 分野別 世界大学ランキングにランクインしている分野数の比較 (指定国立大学法人間)

| 大学名 | 50位以内 | 100位以内 |
|---------|-------|--------|
| 東京大 | 37 | 41 |
| 京都大 | 14 | 32 |
| 東京工業大 | 8 | 11 |
| 大阪大 | 1 | 8 |
| 九州大 | 1 | 2 |
| 筑波大 | 1 | 2 |
| 東京医科歯科大 | 1 | 1 |
| 東北大 | 0 | 5 |
| 名古屋大 | 0 | 3 |
| 一橋大 | 0 | 1 |

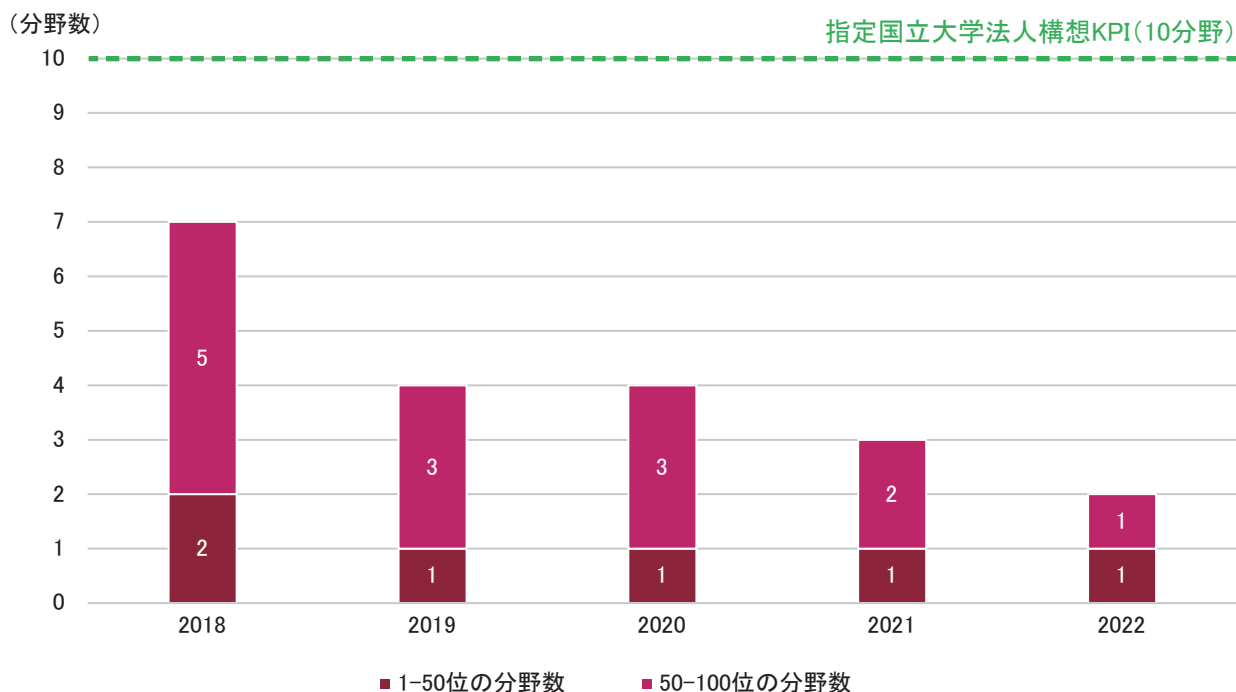
(2022)

本学が100位以内にランクインしている分野(2022)

Mineral & Mining (40位)

Chemistry (84位)

QS分野別世界大学ランキングにランクインしている分野数



出典: 英国クアックアレリ・シモンズ(Quacquarelli Symonds:QS)Webサイト

⇒ その他の世界大学ランキングに関する比較は、「FACT BOOK 2022 詳細版」の「1-6.他大学との比較-国際-」を参照ください。

謝辞

「KYUSHU UNIVERSITY FACT BOOK 2022 -詳細版-」および「KYUSHU UNIVERSITY FACT BOOK 2022 -KPI ダイジェスト版-」の作成に当たり、九州大学各部署及び学外機関の皆様より、貴重なデータを提供していただきました。また、本書発行に当たっては、ご助言及びご助力を多数の関係者の皆様に頂戴しました。ご協力に心より感謝いたします。

本書の完成は、ご協力いただいた皆様方の並々ならぬご尽力の賜物であり、この場を借りて深く感謝申し上げます。

令和4年11月 国立大学法人九州大学 企画部企画課分析係・IR室

国立大学法人九州大学企画部企画課
分析係・IR(インスティテューショナル・リサーチ)室
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL 092-802-2145
<https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/>





九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

ウエスト4号館